



2010年12月28日 No.169

細川律夫国会事務所 Tel 03-3508-7513 Fax 03-3593-7148 E-mail g04091@shugiin.go.jp
南越谷事務所 Tel 048-989-8788 Fax 048-989-5300 HP: <http://www.hosokawa-ritsuo.jp>

副大臣から大臣へ

2010年もまもなく終わろうとしています。ご承知のとおり今年9月、細川律夫代議士は菅改造内閣で厚生労働大臣を拝命いたしました。この1年を振り返ってみたいと思います。

前半は厚生労働副大臣として

昨年、政権交代の後、鳩山政権で厚生労働副大臣に就任し、9月途中までは副大臣として、主に労働、福祉の一部を所管してきました。

通常国会で、約255万人の非正規労働者をあらたに雇用保険に加入させるという「雇用保険法改正案」は成立しましたが、「労働者派遣法改正案」は自民党の反対のため継続審議になりました。



3月17日、衆議院厚生労働委員会にて

参院選は敗北、与党過半数割れ

7月に行われた参議院選挙で民主党は敗北、与党が過半数割れとなったため、いわゆる「ねじれ国会」となりました。

埼玉選挙区では、細川代議士が担当した大野元裕氏

は当選したものの、現職の島田智哉子氏は落選し、2議席確保はなりませんでした。



参議院選挙で大野候補を応援する細川副大臣（当時）

厚生労働大臣に就任



9月14日、民主党臨時党大会で菅総理が党代表に選出された後、17日、内閣の改造が行われ、細川律夫代議士は厚生労働大臣に就任しました。

この日、細川副大臣は北京で行われていたアジア太平洋経済協力会議（APEC）人材養成大臣会合に出席しており、組閣が行われた際は帰りの飛行機のなか。成田に降り立って記者から聞いて、初めて大臣就任を知ったとのこと。上の写真はその後、官邸に入るところ。



9月17日、皇居での認証式を終え、官邸にて

臨時国会で厚労法案成立せず

10月1日から、臨時国会が始まり、予算委員会、厚生労働委員会が開かれると、細川大臣は連日答弁に立ちました。補正予算は憲法の衆議院優先の規定により成立したものの、継続、新規合計4本の厚生労働省が提出した法案は、野党の対決姿勢のためいずれも成立せずに終わりました。特に、自公が賛成し衆議院を通過した法案までも成立しなかったことは異例です。補正予算は総額約4兆8500億円、雇用、子育て、医療などに重点を置いたものとなっています。この予算は国債発行なしで編成しました。



日中韓保健大臣会合（11月、韓国済州島にて）

23年度予算案決定

12月24日、平成23年度予算案が閣議決定されました。子ども手当や、基礎年金の国庫負担割合2分の1の財源をどうするか、など、細川厚生労働大臣は、この間、連日財務大臣などと協議を続けてきましたが、国民の生活を守る厚生労働省としては、一定の成果を収めることができました。

23年度予算は、政権交代後初めて腰を据えて編成した予算です。全般的に財源が少ないなか、子育て関連、雇用などに重点を置いた予算となっています。厚労省予算は合計約28兆9,600億円余りで、全省庁のなかでも断トツ、合計額から国債費と地方交付税を引いたいわゆる一般歳出の約54%を占めています。社会保障費の自然増が大きいため、前年からみると約5.1%の伸び率となりました。

細川律夫新春賀詞交歓会

● 越谷会場

日時 1月8日(土)午後3時

場所 ベルヴィ・ギャザホール

● 草加会場

日時 1月18日(火)午後6時30分

場所 草加アコスホール

● 会費

男性 5,000円 女性 3,000円

細川律夫より一言

今年も残り少なくなりました。お元氣な一としたいと思います。予算案も決定し、来年こそ景気が回復し雇用状況も良くなり、国民の生活も安定する年になるよう努めます。少子高齢化はじめ、社会が大きく変化ある中、一人一人が生きがいと安心に暮らせる社会を創るため微力ですが全力を尽くします。